

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/8)

認定番号: 0077-0910, サービス名称: てじ便ポスト, 事業者名称: トップラン・フォームズ株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須 2019/9/13
- 事業所・事業				
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須 トップラン・フォームズ株式会社
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須 1955年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)	必須 64年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須 東京都港区東新橋一丁目7番3号 (〒105-8311)
	事業所数(国内、国外)		必須 国内:営業所(43ヶ所)、研究所(1ヶ所)、工場(21ヶ所) 国外:なし(海外グループ会社は13ヶ所)	
	主な事業所の所在地		必須 東京都(1ヶ所)、大阪府(1ヶ所)、愛知県(1ヶ所)、福岡県(1ヶ所)、宮城県(1ヶ所) http://www.toppan-f.co.jp/enterprise/office.html	
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要 (ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須 データ&ドキュメント事業 ITイノベーション事業 ビジネスプロダクト事業 グローバル事業 フロンティア事業
- 人材				
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須 坂田甲一
			代表者写真	選択 <写真>
			代表者年齢	選択 62歳
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)	選択 昭和56年4月凸版印刷㈱入社 平成11年4月凸版印刷㈱(株)労政部長 平成19年4月凸版印刷㈱(株)人事部長兼人財開発部長 平成23年4月当社総務本部長 平成24年4月当社総務本部長兼内部監査室、社長室、法務本部担当 平成24年6月当社取締役総務本部長兼内部監査室、社長室、法務本部担当 平成25年4月当社取締役総務本部長兼コーポレートスタッフ部門担当及び内部監査室、社長室担当 平成26年4月当社取締役総務本部長兼コーポレートスタッフ部門担当及び内部監査室、秘書室、広報部担当 平成26年6月当社常務取締役総務本部長兼コーポレートスタッフ部門担当及び内部監査室、秘書室、広報部担当 平成27年4月当社常務取締役事業部門担当及び秘書室、総務本部、プロジェクト担当 平成27年6月当社専務取締役事業部門担当及び秘書室、総務本部、プロジェクト担当 平成28年6月当社代表取締役社長(現任)
7	役員	役員数	選択 14名	
		役員氏名及び役職名	選択 坂田甲一(代表取締役社長)、亀山明(取締役副社長)、岡田康宏(専務取締役)、福島啓太郎(常務取締役)、添田秀樹(常務取締役)、金子真吾(取締役)、ルディー和子(取締役)、天野秀樹(取締役)、横田真(取締役)、大村知之(取締役)、今村真二(監査役)、木下徳明(監査役)、佐久間国雄(監査役)、尾畑亜紀子(監査役)	
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択 1981名
- 財務状況				
9		売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須 179,591,000,000円(決算年月:2019年3月)
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択 5,887,000,000円(決算年月:2019年3月)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/8)

認定番号: 0077-0910, サービス名称: てじ便ポスト, 事業者名称: トッパン・フォームズ株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
11	財務データ	資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須	11,750,000,000円(決算年月:2019年3月)
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択	79.0%(決算年月2019年3月)
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択	有利子負債なし(決算年月:2019年3月)
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択	
15	財務信頼性	上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択	上場あり: 東証一部(証券コード:7862)
16		財務監査・財務データの状況	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない	選択	①会計監査人による会計監査
17		決算公告	決算公告の実施の有無	選択	有り
- 資本関係・取引関係					
18	資本関係	株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択	<ul style="list-style-type: none"> ・凸版印刷株式会社(60.74%) ・日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(5.91%) ・日本マスタートラスト信託銀行株式会社(4.16%) ・BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/JANUS HENDERSON HORIZON FUND(常任代理人 香港上海銀行東京支店)(1.87%) ・トッパンフォームズグループ従業員持株会(1.84%)
19	取引関係	大口取引先	大口取引先の名称	選択	
20		主要取引金融機関	主要取引金融機関の名称	選択	
21		所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択	<ul style="list-style-type: none"> ・日本フォーム印刷工業連合会 http://www.jfpi.or.jp/JBFA/introduction/index.html ・日本ダイレクト・メール協会 http://www.jdma.or.jp/about/result.php?category=10
- コンプライアンス					
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当の役員氏名	選択	
23		専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択	
	文書類	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等文書類の名称			<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ管理規程 ・情報資産取扱細則 ・インターネット利用細則 ・Eメール利用細則 ・コンピュータウイルス防止細則 ・コンピュータ不正アクセス対策細則 ・アクセスログ監視細則 ・個人情報管理規程 ・トッパンフォームズグループリスクマネジメント規程 ・情報セキュリティガイドライン ・webビジネスにおける情報セキュリティ管理細則 ・webビジネスにおける情報セキュリティ管理手順 ・スマートデバイス業務利用細則

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/8)

認定番号: 0077-0910, サービス名称: でじ便ポスト, 事業者名称: トッパン・フォームズ株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
24	情報セキュリティに関する規程等の整備	上記の文書類の経営陣による承認の有無	必須○	<ul style="list-style-type: none"> ＜取締役会の承認があるもの＞ ・情報セキュリティ管理規程 ・個人情報管理規程 ＜全社情報セキュリティ委員会の決議を経ている、または全社情報セキュリティ委員会委員長の決済を経ているもの＞ ・情報資産取扱細則 ・インターネット利用細則 ・Eメール利用細則 ・コンピュータウイルス防止細則 ・コンピュータ不正アクセス対策細則 ・アクセスログ監視細則 ・トッパンフォームズグループリスクマネジメント規程 ・情報セキュリティガイドライン ・webビジネスにおける情報セキュリティ管理細則 ・webビジネスにおける情報セキュリティ管理手順 ＜全社情報セキュリティ委員会の決議を経ている、または全社情報セキュリティ委員会委員長の決済を経ているもの＞ ・スマートデバイス業務利用細則
25	勧誘・販売に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名 上記の文書類の経営陣による承認の有無	選択	
26	ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名 上記の文書類の経営陣による承認の有無	必須	有り: 個人情報管理規程 有り
- サービス基本特性				
27	サービス名称	申請したASP・SaaSのサービス名称	必須	でじ便ポスト
28	サービス開始時期	申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦) サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)	必須	2001年4月1日(平成13年4月1日) リニューアル1回 2006年1月23日に実施
29	サービスの基本タイプ	アプリケーションサービス、ネットワーク基盤サービス、ASP基盤サービス、その他サービスの4つの中から該当タイプを選択	必須	アプリケーションサービス
30	サービスの内容・範囲	申請したASP・SaaSのサービスの内容・特徴 <500字以内で記述> 他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合わせて500字以内で記述>	必須	でじ便サービスとは、インターネットを経由して機密データや大容量データを安全に任意の相手に送信することを目的としたサービスです。データの暗号化やパスワードの付与、ウイルスチェックの実施、有効期限の設定等により高いセキュリティを維持したまま、相手にデータを送ることができます。また、受信状況の確認やメンバーの発行・管理機能もあります。ご利用には送信者のみユーザ登録が必要、受信者は登録の必要がありません。登録されていないユーザからの返信機能もあります。
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	<ul style="list-style-type: none"> ・Web画面にロゴや特定の文字を表示可能 ・一部の機能を制限・隠蔽することが可能 ・通知メールの件名や文面のカスタマイズが可能
32	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述) 告知方法	必須○	1ヶ月前 電子メール(契約者)、Webサイト

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/8)

認定番号: 0077-0910, サービス名称: でじ便ポスト, 事業者名称: トッパン・フォームズ株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
33	サービスの 変更・ 終了	対応・代替措置の基本方針の有無と、基本方針がある場合はその概略	必須	なし
		基本方針に沿った具体的なユーザへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略		なし
		契約終了時の情報資産(ユーザデータ等)の返却責任の有無		なし
34	サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	問合せ先(通常の苦情等の問合せ窓口も含む)の有無と、問合せ先がある場合は名称・受付時間	必須○	有り 名称: でじ便ポスト事務局 受付時間: 平日9:30~12:00、13:00~17:30
35	課金方法	従量部分の課金方法	必須	料金の請求対象期間(前月21日から当月20日まで)を基準とし、利用した通数・ファイルサイズ・保存期間を元に請求金額を算出する
		固定部分の課金方法		お申し込み時の「プラン」別に定められている月額固定費用を適用する
36	サービス 料金	初期費用額	必須	法人会員は ¥2,000-(税抜き)
		月額利用額		固定基本料金+利用料金+オプション費用 (詳細は別紙「でじ便ポスト料金表」を参照)
		最低利用契約期間		制限なし
37	解約時ペナルティ	解約時違約金(ユーザ側)の有無と、違約金がある場合はその額	必須	違約金なし
38	利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、有りの場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	必須	受付期限なし
39	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	100%(2017年9月1日から2019年8月31日までの計画停止を除く実績)
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		サービス種別のパターン番号: パターン3 稼働率の対策参照値: 95%以上
		サービス停止の事故歴		事故/障害: 0件 (2017年9月1日から2019年8月31日までの実績)
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	検知の場所: データセンター内の独自LANより監視 検知のインターバル: 30分 検知方法: 専用ツールにより、擬似的に特定パターンの画面操作を行うことでサービス応答速度を監視。指定された時間内にサービス応答がない場合は、システム管理者へアラートが通報される。
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		検知の場所: データセンター内の独自LANより監視 検知のインターバル: 30分 検知方法: 専用ツールにより、擬似的に特定パターンの画面操作を行うことでサービスパフォーマンスの正常性を把握。指定された時間内にサービス応答がない場合は、システム管理者へアラートが通報される。
41	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	負荷分散対策をレスポンス上の問題回避のために採っている
42	認証取得・監査実施	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 27001など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称	選択	プライバシーマーク: 有り 付与機関: (財)日本情報処理開発協会(JIPDEC) 認定番号: 10190934(06)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/8)

認定番号: 0077-0910, サービス名称: てじ便ポスト, 事業者名称: トッパン・フォームズ株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
43		個人情報の取扱い	必須	個人情報を収集する際は、予め利用目的を明示し、同意を得てから個人情報の収集を行っている。 また、利用目的を当社Webサイトに公開している。	
44		脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	Webアプリケーション、OS、ハードウェア
			診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		診断の頻度: 年1回以上 対応状況: 脆弱性は検出されなかった。
45		バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	1日1回
			世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	4世代
46		バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	1日1回
47		受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	なし
48		SLA(サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	添付される
49		サービス利用量	利用者数	選択	契約件数: 約 1,200件 (解約ユーザは除く) 登録ユーザID数: 約 130,000件(実ユーザ数)
50			代理店数	選択	なし
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等					
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	必須	Secure Package v3	
		主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	ユーザ間で任意の電子データ(電子ドキュメント、プログラム、その他データ)を交換するためのサービスを提供する製品です。取引文書、秘匿性の高い社内情報やデジタルコンテンツといった重要な電子ドキュメントの交換に重点をおいていることが特色です。また、既存の電子メールやWebベースサービスに比べ安全性/確実性を向上させるための付加価値機能の提供、Webブラウザだけでいつでもどこでも利用できる高いユーザビリティ、ASP型の大規模サービス運用に耐えるスケーラビリティを備えています。	
52	主要ソフトウェアの提供事業者	提供事業者の名称	必須	富士通株式会社	
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	選択	標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称	
				標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否	
54	セキュリティ	死活監視(ソフトウェア、機器)	必須○	アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器	
				障害時の利用者への通知時間 24時間以内(休日は除く)	
55	障害監視(ソフトウェア、機器)	障害監視の有無	必須	有り	
56	時刻同期	システムの時刻同期方法	必須	NTP	
57	ウイルスチェック	メール、ダウンロードファイル、サーバ上のファイルアクセスに対する対処の有無と、対処がある場合はパターンファイルの更新間隔(ベンダーリリースからの時間)	必須○	ウイルスチェック: 有り パターンファイルの更新間隔: 1日1回 ユーザ送信ファイルは、利用者がファイルを送信するタイミングでウイルススキャンを実施(任意オプション)。サーバ上のシステムファイルは、1日1回ウイルススキャンを実施。	
58	記録(ログ等)	利用者の利用状況、例外処理及びセキュリティ事象の記録(ログ等)取得の有無と、記録(ログ等)がある場合にはその保存期間	必須○	各種ログ(マネージログ除く)、DBデータ: 1日(4世代) マネージログ: 6年以上	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/8)

認定番号: 0077-0910, サービス名称: てじ便ポスト, 事業者名称: トッパン・フォームズ株式会社

【審査対象項目】			【記述内容】	必須/選択	申請内容
59		セキュリティパッチ管理	パッチの更新間隔(ベンダーリリースからパッチ更新開始までの時間)	必須○	ベンダーリリース後、速やかにその影響範囲を特定し、その影響範囲に応じて対応を決定する。なお、緊急度の高いパッチについては、直ちに対策会議を開催し対応を検討する。
- ネットワーク					
60		推奨回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類	必須	インターネット
			ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	当社の管理管轄外であるため、責任は負わない
61		推奨帯域	推奨帯域の有無と、推奨帯域がある場合はそのデータ通信速度の範囲	必須	無し
62		推奨端末	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	端末: パソコン OS: Windows 7、Windows 8.1、Windows 10、Mac OS X 10.5.8
			利用するブラウザの種類	必須	Windows: Internet Explorer 11 Macintosh: Safari 5.0.6
63	回線	ファイアウォール設置等	ファイアウォール設置等の不正アクセスを防止する措置の有無	必須○	有り
64		不正侵入検知	不正バケット、非権限者による不正なサーバ侵入に対する検知の有無	必須	有り
65		ネットワーク監視	事業者とエンドユーザとの間のネットワーク(専用線等)において障害が発生した際の通報時間	選択	インターネット回線の障害については責任範囲外
66		ID・パスワードの運用管理	IDやパスワードの運用管理方法の規程の有無	必須○	有り
67		ユーザ認証	ユーザ(利用者)のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	必須○	ユーザID、グループID、パスワードによる認証 IPアドレス制限(オプション) 端末認証(オプション)
68		管理者認証	サーバ運用側(サービス提供側)の管理者権限の登録・登録削除の正式な手順の有無	必須○	管理者権限運用管理手順有り
69		なりすまし対策(事業者サイド)	第三者による自社を装ったなりすましに関する対策の実施の有無と、対策がある場合は認証の方法	必須	認証局が発行するSSLサーバ証明書を取得・使用
70		その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策、データの暗号化等)	選択	サーバ内に保存するデータファイルを暗号化(トリプルDES)
- ハウジング(サーバ設置場所)					
71	施設建築物	建物形態	データセンター専用建物か否か	必須	データセンター専用建物
72		所在地	国名、(日本の場合は地域ブロック名(例: 関東、東北))	必須	関東
73		耐震・免震構造	耐震数値		必須
	免震構造や制震構造の有無			免震構造グレードランク	
74	非常用電源設備	無停電電源	無停電電源装置(UPS)の有無と、UPSがある場合は電力供給時間	必須	無停電電源装置: 有り 電力供給時間: 5分
75		給電ルート	別の変電所を経由した給電ルート(系統)で2ルート以上が確保されているか否か(自家発電機、UPSを除く)	必須	異なる2か所の変電所からの本予備二回線受電による冗長化 66,000Vの特別高圧受電
76		非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、非常用電源がある場合は連続稼働時間の数値	必須	自家発電機: 有り 燃料備蓄量: 約3日間

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/8)

認定番号: 0077-0910, サービス名称: でじ便ポスト, 事業者名称: トップラン・フォームズ株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	必須	自動消火設備: 無し ガス消火設備(N2)を設備
78		火災感知・報知システム	必須	有り
79	避雷対策設備	直撃雷対策	必須	有り
80		誘導雷対策	必須	避雷器: 有り(耐電圧150kV)
81	空調設備	十分な空調設備	選択	冷却方式: 外気を利用した冷却方式 温度制御: 22±2°Cで管理
82	入退館管理等	入退室記録の有無と、 入退室記録がある場合はその保存期間	必須	入退室記録: 有り 保存期間: 2年間
		監視カメラの有無と、 カメラがある場合は監視カメラ稼働時間、監視カメラの監視範囲、映像の保存期間		監視カメラ: 有り 稼働時間: 24時間365日 監視範囲: 無死角に監視カメラを設置 映像の保存期間: 60日以上
		個人認証システムの有無		有り
83	セキュリティ 媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	有り
		保管管理手順書の有無		有り
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	・敷地入口でインターホンによる不審者監視 ・ビル入口検査室において金属探知機・X線検査機による持ち込み物管理 ・同検査室出口においてローターゲートによる共連れ防止 ・コロケーションスペース入口において生体認証装置による成りすまし防止 ・各所出入口、開口部分において機械監視設備による侵入防止
- サービスサポート				
85	サービス窓口 (苦情受付)	連絡先	必須○	<サービス窓口> 電話: 0120-392-733 email: dejibin@toppan-f.co.jp
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		無し
86	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	営業曜日: 月曜～金曜(土日祝祭日、年末年始を除く) 受付時間: 9:30～12:00、13:00～17:30
		メンテナンス実施時間		定期メンテナンスなし
87	サポート対応	サービスサポートの稼働率の実績値(単位: %)	選択	
		放棄率の実績値(単位: %)		
		応答時間遵守率の実績値(単位: %)		
		基準時間完了率の実績値(単位: %)		
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	でじ便ポストの操作方法、お申込みや料金に関する問合せ、エラー時等の対応
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話、電子メール、Web(問合せフォーム)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (8/8)

認定番号: 0077-0910, サービス名称: でじ便ポスト, 事業者名称: トッパン・フォームズ株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
89	サービス保証・継続	サービスダウンしない仕組み	必須	サーバ群・ネットワーク機器の冗長化、負荷分散を行っている
90		事故発生時の責任と補償範囲	必須	有り 名称: でじ便ポストサービス会員約款
91	サービス通知・報告	メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知	必須○	利用者への告知時期 (1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述)
		告知方法		1ヶ月前
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		電子メールとWebサイトでのご案内 障害発生時は緊急メンテナンス有り
92	障害・災害発生時の通知	障害発生時通知の有無	必須○	有り
93	定期報告	利用者への定期報告の有無 (アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等)	必須	定期報告なし

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。